



2017-18年度
国際ロータリー会長
イアン・ライズリー

Weekly Report Niigata



ロータリー：
変化をもたらす

国際ロータリー
2017-18 年度テーマ



2017～18 年度
新潟ロータリークラブ会長
徳永 昭輝

新潟 RC 11月第 3例会 (2017.11.21) No.3208

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 徳永 昭輝会長挨拶

先週の土曜日は市内でも雪が降ったようですが、高校の同窓会があり信州の蓼科温泉に行っていました。朝起きるとうっすらと雪景色となっていました。これから寒くなります、楽しい例会ができるようにお互いに風邪などひかないようにしたいと思います。

今日は、ゲストスピーカーとして、新潟地方気象台次長 吉田和義さんをお迎えしています。後程紹介させていただきます。

11 月は「ロータリー財団」月間です。

今日は、2016-17 年度に、100 歳の誕生日を迎えたロータリー財団について考えてみたいと思います。

1917 年に開催されたアメリカ・ジョージア州アトランタで開催された大会で、当時の国際ロータリークラブ連合会（現、国際ロータリー RI）国際ロータリー会長アーチ C. クランクが「世界で良いことをする」ための基金を作るというビジョンを発表、アメリカ・ミズリー州カンザスシティ・ロータリークラブからの 26 ドル 50 セントの寄付でスタートしました。財団の父とよばれるアーチ・クランクは、1869 年 6 月 6 日、ペンシルバニア州カヌートビルで生まれ、オハイオ州クリーブランド RC の創立会員、1916-17 年度の国際ロータリー連合会の会長を務めました。

ロータリー財団の標語「世界で良いことをしよう」です。

ロータリー財団は、世界有数の財団に成長し、今まで何百万という人のために人道的支援を行ってきました。

先日国際ロータリー、イアン・ライズリー会長とのポール A. ネットル財団管理委員長から以下のようなメッセージが寄せられました。前ロータリー年度で、合計 3 億 400 万ドル（年次基金：1 億 4000 万ドル、恒久基金 2800 万ドル、ポリオプラス基金：1 億 800 万ドル）が寄せられた。このご寄付は、今日のロータリーの活動を支え、明日のロータリーを強化し、「世界で良いこと」をするために生かさ

れている。財団は、494 件の地区補助金、1,260 件のグローバル補助金を承認、1 億 1100 万ドルの資金をしている。ポリオ撲滅はロータリーとロータリー財団の最優先事項である。ゲイツ財団はロータリーの集める資金に対して 2 倍の上乗せ（対象は年間 5000 万ドルまで、3 年継続）支援をしている。アトランタ国際大会では各国政府や主要寄付者から、合計 10 億ドル以上のポリオ撲滅への寄付が約束された。

財団寄付には、用途を指定した「用途指定寄付」と用途を指定しない「年次基金: Annual Fund」があり、地区年次基金は 2 つの活動資金：50%地区財団活動資金；DDF District Designated Fund と 50%国際財団活動資金：WF

World Fund があり、恒久基金は世界の平和のための基金として、元金にはてを付けず、その配当金だけをプログラム資金に充てて安定した運営が図られています。財団寄付には、表彰制度があり、年次基金 1000 ドル寄付した場合、ポール・ハリス・フェローが、さらに 1000 ドル寄付するとマルチフル・ハリス・フェローが、さらに 1000 ドル寄付するとブルーの石の付いた襟章、マルチフル・ハリス・フェロー 5 つの後 1000 ドル寄付するとルビー・ピンが、最高 3 つまで、その上 1 万ドル、2 万 5 千ドル、10 万ドルに達するごとにダイヤモンド・サークル・ピンが贈られる。

2013 年から「未来の夢計画；Future Vision Plan」

目的：①財団の用途に沿って、プログラムと運営を簡素化すること、②ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組むこと；最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること、③世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金を提供すること、④意思決定権を地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること、⑤ロータリー財団の活動に理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること

補助金の構成 Grant Structure

1. 地区補助金 District Grants(DG)

～財団の使命に当てはまる活動を支援する～

奨学金・職業研修チーム（VTT）・奉仕活動の支援・講師活動の支援・災害支援・地元や海外での奉仕プロジェクトの

実施に対して、地区財団活動資金:DDF District Designated Fund の配分を通して全額提供される。

2. グローバル補助金 Global Grants (GG)

①重点分野のいずれかに該当する：6 重点分野 i. 平和と紛争予防/紛争解決 ii. 疾病予防と治療、iii. 水と衛生、iv. 母子の健康、v. 基本教育と識字率向上、vi. 経済と地域社会の発展

②地域社会の特定されたニーズに応える。

③地域社会の人々が積極的に参加する。

④地元の人々の知識、スキル、リソースを向上させる

⑤クラブまたは地区が活動を終了した後も、地域社会に長期的な恩恵をもたらす。

⑥測定可能な成果を残す。

⑦ロータリアンが積極的に参加する。

～プロジェクト予算～

①少なくとも 3 万米ドル以上

グローバル補助金として、国際財団活動資金から最低 15000 ドル、提唱者からの地区財団活動資金から同額 100% 現金寄付に対して半額

②グローバル補助金には、2 者の代表提唱者が必要：活動が実施される国内の実施国側提唱者、国外の援助国提唱者

*必要条件：補助金を受容するための資格認定を受けていること。人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームの支援に使用できる。

新潟 RC における財団補助金事業の現状

1. 地区補助金事業

①13-14 年度 DG1412537 1500^{ドル}

地域社会の発展：交通遺児とロータリアンとの触れ合い

②14-15 年度 DG1516685 650^{ドル}

教育：奨学生と一緒に自然探訪、探鳥会

③15-16 年度 DG1624029 3949^{ドル}

地域社会の発展：「新潟の将来を考える地方創生講演会」

④16-17 年度 DG1856382 15000^{ドル}

2 グローバル補助金 DG WF

①13-14 年度 GG 1414219 15000^{ドル} 15000^{ドル}

奨学金 麩沢美裕イリノイ大学で「水と衛生」

②16-17 年度 GG 1641122 20000^{ドル} 20000^{ドル}

奨学金 遠藤 悠ノースカロライナ大学公衆衛生大学院

チャペルヒル校「疾病予防と治療」

今まで新潟 RC で利用した財団資金は、地区補助金 (DG) 77099^{ドル}、国際活動資金 (WF) 55500^{ドル}、合計 132599^{ドル}

～直近 3 か年の新潟 RC における財団寄付金～

13-14 年度：11719^{ドル}、14-15 年度：11796^{ドル}

15-16 年度：9258^{ドル}、16-17 年度：9526^{ドル}

合計金額 46299^{ドル}

～2017-18 年度新潟 RC 財団寄付状況～

10 月末現在 4858^{ドル}

目標額 20,000 円/人 x95 人、普通寄付金 4000 円

一人、16,000 円です。地区からの目標額は 1 人 150^{ドル} です。現在目標額の、34.09%

新潟 RC 財団寄付は、決まった方の寄付が多い傾向があり、寄付されている方は全体の 30-40% という状況です。

現在、グローバル補助金によるミャンマー医療支援事業；

「超音波診断装置を贈り、ヤンゴン市民の母子保健向上」を計画、進行中です。

地区補助金 (DG) 20000^{ドル}、新潟 RC1000^{ドル}、

国際活動資金 (WF) 20000^{ドル}+500^{ドル} 合計 41500 ドル

新潟 RC が初めて取り組んでいるグローバル補助金事業

「ミャンマー医療支援」にご理解とご協力をお願い致します。

(3) 3 分間スピーチ

・新潟郵便輸送(株)代表取締役社長 斎藤庫之丞君



・(株)ビップ 代表取締役副社長 坂井 賢一君



・(株)里仙 取締役社長 佐藤 紳一君



(4) 委員会報告

・秋山 I A委員長より年末年始献血活動協力依頼

「Ideal of Service」!?

ロータリー情報委員長
小山楯夫

(5) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員長)

小田 等君 安藤 栄寿君

徳永 昭輝君

米山奨学会寄付発表(池上 茂樹委員)

高橋 秀松君 竹田 正弘君

徳山 啓聖君

青少年育成基金寄付発表(小田 等委員長)

小田 等君 町田 智君

本間 彊君

(6) ニコニコボックス紹介(金井 政則委員)

・坂井 賢一君 11月14日 新潟青陵大学短期大学部において職業奉仕委員会による出前授業を行いました。当会からは浅田社長、山田眞社長より講師役をつとめていただきました。220名の学生さんは熱心に聴いていました。ありがとうございます。

・浅田 龍一君 結婚記念日のお花をいただき、ありがとうございます。毎年、違う色のお花をいただき感謝です。

・竹田 正弘君 ワインありがとうございます。

(7) 卓話「気候変動の衝撃！新潟の気候が変わる？」

新潟地方気象台次長 吉松和義氏



(8) 11月21日例会の出席率 72.22%

会員数 94名(出席免除会員 8名)

出席者 65名(出席免除会員4名を含む)

(2週間前メーク後 90.11%)

12月5日の例会予定

「年次総会」

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

ロータリーには難解な和訳言葉が多い。「職業奉仕」「奉仕の理想」「超我の奉仕」・・・一つひとつは日本語の様ですが、その熟語の意味を理解する事が難しい。

ロータリーが標榜する「奉仕の理想(原語: Ideal of Service)」に付いて考えてみたい。これを和訳した人は、多分、ロータリーを高潔で格式の高いものという観念から“Ideal”を“理想”、“Service”を“奉仕”と直訳したのでしょう。私は、英語の先生でも翻訳家でもありませんが、ロータリーの歴史文献、資料を読むと疑問を生じざるを得ないのです。ロータリーが創立された頃のアメリカ社会は、どの様な商取引が行われていたか知らない人が和訳すると「Ideal of Service」を「奉仕の理想」と格式高く訳したくなります。「奉仕の理想」とは一体何だろうか？

“Ideal”を英和辞典で引くと=「理想: 典型、」とあります。今度は“理想”を国語辞典で引いてみると「実際には実現できないとしても、理念としては追及し続けるところの、物事の最も望ましい状態。」とあります。

では、“Service”はどうでしょう。「奉仕; 職務、公務、兵役; (役所などの)局、部、課; 礼拝; 助力、世話、貢献; 有益; 給仕、修理; 食器の一式; (汽車・船の)便; (郵便・電話・ガス・水道・電気など)公共事業; テニスなどのサーブ;」とあります。今度はまた国語辞典で“奉仕”を引くと、「神仏・主君・師などに、つつしんでつかえること。報酬を度外視して国家・社会・人の為に尽くすこと。商人が安い値段で品物を得ること。」なんと、三つの概念しかありません。S・チャージ、S・マン、シークレット・S、S・エリア、S・カウンター、S・ステーション、S・ロードなどの“サービス”(S)を国語辞典にある“奉仕”と訳すと意味不明です。R.I.では「翻訳して意味不明の場合は英語に戻りなさい」となっています。米山梅吉翁は、service は日本語に適当な言葉がないと、ガバナー月信で“奉仕”とは書かず、“サーヴィス”と書き続けました。

日本のロータリーが何故 service を奉仕と訳したのでしょうか?? ロータリーは商売人・企業人の集まりから出発しました。それなら私は、業務、職務などと訳し、個々の業務、職務に「四つのテスト(翻訳不完全な内容)」を理念に、理想的な経営活動の方法を取り入れるべく、「業務又は職務の理想」と訳すべきではないでしょうか。確かに「奉仕の理想」は語路が良いですが、ロータリーが言う“service”の真の意味からは的外れに思うのです。元々私達は、“奉仕”活動をしようとも、したいとも思って入会した訳ではありません。若し、そうであれば、世の中にもっと専門的な奉仕団体やボランティア団体は幾らでも存在しています。ロータリーは寄付団体でも奉仕団体でもない先輩会員から教わりました。異業種のトップが集い、個々の企業・職業サービス向上のアイディアを交換し、顧客を増やす同好の士の集まりではないでしょうか。